

平日に子どもと一緒に過ごす時間（「家庭教育に関する国際比較調査」）  
 日本 父親 3.1時間 母親 7.6時間  
 スウェーデン 父親 4.6時間 母親 5.8時間

大分県男女共同参画社会づくりのための意識調査（平成17年）では女性は4人に1人がセクシュアル・ハラスメントの被害を受けたことがある。

# 男だけの本音座談会

## ～理想と現実の狭間で～



### 座談会参加者プロフィール

- A / 公務員 既婚 共働き 子ども3人
- B / 公務員 既婚 共働き 子ども1人
- C / 会社員 既婚 共働き 子ども3人
- D / 会社員 既婚 共働き 子ども2人
- E / 会社員 既婚 共働き 子ども1人
- F / 会社員 既婚 共働き 子ども2人
- G / 公務員 既婚 共働き 子ども0人

大分市でも、男女共同参画を進めるための条例が今年の10月に施行されるはこびとなりまし。この条例には、男女共同参画社会の実現に向けての基本理念や様々な取り組みなどが盛り込まれています。しかし、大分市民の現実の生活は一体どうなのでしょう。そこで、日頃はなかなか聞きだせない男性の本音から、大分市民の現実の生活を垣間見てみました。という訳で、今回は匿名での『本音』座談会です。



F / 有給休暇さえも周囲に遠慮しながら取っているような状況の中で、長期間育児休業を取得するというのは難しいでしょう。誰もがまねばなく、当たり前前取っていくという社会になれば良いですね。

司会者 / 日本の社会の中でも『男女共同参画』という言葉が使われるようになって久しいですが、それを実感する場面が日常生活でありますか。

A / 私はセクハラに敏感になりましたね。それまでは軽い気持ちで女性に言っていたようなことでも、これはセクハラになるのだろうか

### 育児休業を知っていますか？

司会者 / 今回座談会に参加してくださった方々は皆さん既婚で、お子さんがいらつしやる方も多いのですが、この中で育児休業を取得した人はいますか。また、同僚の男性等で育児休業を取得した人を知っていますか？

C / 短期間でなら取得したという人はいますが、長期間となると知りませんね。

F / 私は、自分の会社の育児休業の制度自体どうなっているのかさえ知りません(笑)。

D / 正直なところ子育ては妻に任せきりで。2人目が産まれてからはいろいろと手伝うようにはなりましたが、育児休業を取ることが考えたことがありませんし、どうい制度になっているのかもほとんど知らないのです。

E / 私も子育ては妻に任せきりです。家事はある程度分担し、料理くらいは将来的にできるようにしたいとは考えていますけど。

G / 私にはまだ子どもがいない

か、考えるようになりまして。同じ言葉でも、受け取る女性によって、セクハラになったりならなかったりするの、難しいですね。

G / 以前の職場は男性ばかりで、女性は1人ぐらいしかいませんでしたから、今考えると彼女にとっては毎日がセクハラだったかも。でも、職場の人も相手の性格を分かって話し掛けていましたから、女性が深刻に悩んでいる様子は見られませんでしたけど。本当のところはどう感じていたかは分かりませんね。

A / つい、言ってしまうんですよ。独身の女性に『まだ結婚せんのか?』とか(笑)。

E / 私の会社ではセクハラに関する特別なレクチャーはありませんが、相談窓口は設けてあるみたいです。実際に相談があるのかどうかは知らないのですが。

司会者 / 逆に、女性からの言葉で傷つくこともあるのではありませんか？

G / 全員 / それは、ある!(爆笑) / 男性が女性に『太ったんじ



のですが、自分が育児休業を取るとしたら、その後の仕事は誰が引き継ぐのか、周囲の人に迷惑をかけてしまうのではないかと心配を、まずしてしまいますね。

B / 私の場合、自分が育児休業を取得すると言ったら、職場の仲間は大いに喜び、応援してくれるでしょう。また、自分が休んでいる間は正規の職員を補充してくれることも分かっています。

男性が育児休業を取れない理由とは？

司会者 / 男性の方は、育児休業の制度自体あまりよく分かっていないという人も多いようですね。しかし、制度があっても利用している人

やない?』と言うとセクハラになります。女性は結構男性に言ってますよね。

B / でも、男性はそれを指摘するのを潔しとしない傾向があるんです。ついついカッ〇悪いと思ってしまう。そこところは、女性にも気を付けて欲しいですね。

### これからの社会に望むこと

C / 男女共同参画社会といっても、これまでの伝統や文化が息づく社会の中で、全てのことを一度に変えていくのは困難です。ひと昔前は男子厨房に入るべからずだったけれど、今はスマップなど人気グループの男性達が料理するテレビ番組などが存在する時代です。メディアがこういう場面を積極的に提供するようになっていけば、育児休業だってもっと取りやすくなるのではないのでしょうか。

F / これからは、女性が自分の能力を思う存分発揮できる社会になることを望んでいます。十数年も一生懸命勉強してきたのに、社会に出

がほとんどないようですが、それは何故でしょうか。

B / まずは、収入面でしょね。育児休業中は、休業前の収入の40%を育児休業給付金として雇用保険から支給されることになっていますが、実際にそれで生活ができるかというと、なかなかそういう人はいません。

D / それに、収入が充分保障されなくても、自分が取得することを現実と考えた場合、会社の人たちにどう思われるか考えると二の足を踏むでしょうね。本当に育児やっているの?お前の事だから遊んでるだろう?とか、言われかねない(笑)。

A / 勇気を出して取得するべきなのだろうが、住宅ローンを抱えている身なもので、収入が減るとなると、妻も反対します(笑)。

C / バックアップ体制も万全とは言えませんね。民間の会社だと、自分の代わりに正規の社員を補充してくれるかといったら、そうはいかないでしょう。その分周囲の人間の負担が増える場合が多いと思いますね。

て2〜3年で仕事を辞めざるを得ないような状況では、あまりにももったいない。自分達の子どもには、女性だからという理由だけで、結婚や出産等により仕事を辞めなくて済むような社会にしたいものです。司会者 / 現実と理想の狭間で悩んだり、疑問を持ったりしているのは女性だけではなく、ということが分かりました。男女共同参画社会というのは、男性と女性が対立し、互いを非難して実現できる社会ではありません。これからは、時には本音でぶつかり合いながら、よりよい関係を築いていくことで、真に望ましい男女共同参画社会をめざしていきましょう。

